

3/14 国際定期コンテナ航路 週3便に

酒田港と韓国・釜山港を結ぶ定期コンテナ航路が新たに開設され週3便になりました。新航路のコンテナ船が初めて酒田港に就航したことを記念して就航式が行われました。新航路の輸出の場合は金曜日に酒田港を出発し日曜日に釜山に到着。輸入は釜山から釜山新港、富山新港、直江津を経由して酒田港に到着します。

運行・新規船社（チャングム）／長錦商船株式会社（本社 韓国ソウル）▶就航船舶／（カリスマ ビーナス）KHARIS VENUS（総トン数3,994トン、積載能力338TEU（20フィートコンテナ換算））



Zoom Up

ズームアップ!さかた
私の街さかた。あの日あの時。



3/21 きれいな歌声を披露

第58回酒田マリーニュニア合唱団の定期演奏会が総合文化センターで行われ、童謡メドレーなどを披露しました。会場には市民や関係者など約200人が訪れ、きれいな歌声に聞き入っていました。



3/23 土門拳文化賞授賞式

第20回土門拳文化賞授賞式が土門拳記念館で行われました。この賞は平成6年に写真文化・写真芸術振興のため創設されたもので、この日は選考委員や関係者が見守る中、受賞者に賞状や賞牌（しょうはい）などが贈られました。受賞作品は4月23日（水）まで同館に展示されます。



▲松山中学校閉校式



▲飛鳥中学校閉校式

3/21、22、23

思い出を胸に(松山中・飛鳥中・亀城小・港南小閉校式)

平成26年度から統合される小中学校の閉校式がそれぞれの学校で行われました。式には大勢の地域住民や関係者が出席し、学校の思い出や歴史を振り返っていました。

東部中学校の開校式は4月3日（木）午後2時から、亀ヶ崎小学校の開校式は4月4日（金）午後2時から行われます。



▲港南小学校閉校式



▲亀城小学校閉校式

取材ノートから

酒田港と釜山港を結ぶ国際コンテナ航路が週3便に。酒田港の活性化がさまざまな分野の活性化へつながることを期待(す) ▶統合される小学校・中学校。地域の皆さんに見守られ、新しい学校にも子どもたちの笑顔があふれるように(ま) ▶風に乗って空高くあがる勇壮な酒田風。風あげ大会で上手に上がった時の子どもの笑顔に、私も笑顔(お) ▶東日本大震災が起きてから、4回目の4月。「忘れない」も大切だけど、「知らない」ことがまだまだたくさんあります(み)

2/22 「酒田雛街道」 傘福の展示

2月22日からスタートした酒田雛街道。市内の主要観光施設や商店街などで江戸時代初期からのひな人形や傘福などが展示されました。写真は山王くらぶ「湊町酒田の傘福」展示のテープカットと清亀園の「酒田の古傘福と古典人形」展示の様子。



2/23 もやし結びが できた

日本でも有数の古い歴史をもつ酒田海洋少年団の一日体験入団が総合文化センターで行われました。体験に参加した子どもたちは、えび結び、もやし結びなどのロープの結び方を教わり、会場のあちこちから「できた!」という歓声が上がっていました。



3/2 新入学児童に ランドセルカバー

酒田ライオンズクラブから新入学児童の事故防止に役立ててほしいと、ランドセルカバー850枚が寄贈されました。蛍光性、防水性の素材で作られた黄緑色のランドセルカバーは市内の学校を通して新入学児童に贈られます。

3/9 東日本大震災を 忘れない



3月9日(日)、酒田市地域福祉センターで東日本大震災追悼の集いが開催され、本市に避難されている方々と市民約80人が参加しました。震災で犠牲になられた方々に黙とうをささげ、本間市長の追悼のことばの後、講演と活動報告、ミニコンサート、参加者同士の交流懇談会が行われました。



●3年目のキャンドルナイトin酒田

3月11日(火)、マリーン5清水屋前で東日本大震災への追悼の思いを込めて、キャンドル約1,000個に火がともされました。



3/17 「小さな親切」図書が 寄贈

酒田「小さな親切」の会(会長 前田直己氏)より、全国の小中学生が書いた作文集「きみのころにありがとう」75冊と図書「思わず泣けるいい話」11冊が教育委員会に寄贈されました。寄贈された図書は市内の小中学校と市立図書館で活用させていただきます。

3/18 災害時に飲料水を 提供

「災害時における飲料水の提供及び防災機能付自動販売機の設置に関する協定書」を本市と株式会社 伊藤園で締結。災害時に本市の要請により震災前の価格で優先的に飲料水が提供され、総合文化センターに設置してある自動販売機の在庫は救援物資として無償提供されます。自動販売機には、全国瞬時警報システム(Jアラート)などの情報が流れる防災無線機能が備え付けられています。

